

非常に残念なことに、アジアゾウの子ナガールが土曜日の午後、ほぼ2歳で突然亡くなりました。

死因を調べるため、死亡した雄ゾウは検査のためにユトレヒト大学獣医学部に運ばれた。

ユトレヒト大学の初期研究では、ワイルドランズでの生後約2歳の子ゾウの突然死について、腸の細菌感染の強力な証拠が示されました。これを裏付けるためにさらなる研究が期待されています。土曜日に動物管理者からの迅速な警告と獣医師の措置にもかかわらず、若い雄ゾウの病気の進行は非常に急速であり、この助けは役に立たなかったということです。

金曜日の夜、子牛は通常よりもわずかに遅い行動を示しましたが、土曜日の朝になっても変化はありませんでした。土曜の午後早く、若いゾウは明らかに腹痛を示し、その後薬が投与された。しかし、その動物はその後すぐに死亡した。母親ゾウ、2頭の叔母、そしてもう1頭の若い雄ゾウを含むゾウの家族全員が、全過程を通じて彼の側を離れることはなかった。夕方から夜にかけて全員がゾウに別れを告げることができ、死んだゾウは解剖のためユトレヒトの獣医学部に運ばれた。彼の常連の介護者2人が彼と一緒にユトレヒトにやって来た。当然のことながら、この出来事はゾウの群れと飼育員チームにとって大きな影響を及ぼします。

この子牛は、2023年1月30日に、17歳の母親の最初で唯一の子としてワイルドランズで生まれました。彼の死後すぐに家族はやや落ち着かず、おそらく今後数日はこの状態が続くだろう。